

Ryunan Spirit

校長通信

R6.10.3

Vol.80

【第七十八回 南部中学校体育祭…】

一人一人の頑張りから感謝！

令和六年度第七十八回体育祭が行われました。今年は酷暑を予想し開催を十月にしました。しかし、準備期間もかなり暑い日が続きました。さらに十月に入ってなお台風が二つ発生しているという珍しい気圧配置。秋雨前線の影響もあり、前日の予報はなんと雨のち曇りでした。刻々と変わる天気予報。それでもみんなの祈りが通じたのか、当日は昨日のような暑さや砂埃が嘘のよう。とても涼しい陽気になりました。昨日の深夜から早朝にかけて降った雨のおかげで、グラウンドコンディションもベストになりました。限られた時間の中で準備してきたことを応援団や三年生のみなさんを中心に、各学年一人一人が精一杯に取り組んでくれたおかげで、最高に素晴らしい

しい一日となりました。

今年の個人種目は障害物競走(レク走)でした。麻袋でのジャンプも大変そうでしたが、意外と難しかったのは玉入れだったようです。ね。練習も限られた時間で十分にはできませんでしたが、それ以上に本番はアドレナリン全開で、思わず遠くに投げてしまった人が続出したように見えました。長縄跳びにも各クラスが挑戦しました。ここでは上級生が格の違いを見せつけていたように思います。たくさん仲間たちと呼吸を合わせての跳躍はなかなか思うようにはいかないものです。体力差もさることながら、経験の差が回数に表れていたのかわかりません。どのクラスも自分たちの思いをぶつけ、全力を尽くしての跳

躍でした。

各学年の種目もまた見事、見ていた私たちも手に汗握る展開となりました。限られた時間での練習にそれぞれの学年が工夫して取り組みました。予行からわずか一日で修正しての本番。それでも、どのクラスも全力で取り組みました。応援にも力が入っていましたね。いろいろなどころで新たなヒーローが誕生していたように思います。作戦通りにできたクラス、思いもよらない失敗があり予定と違う結果になったクラスと様々ですが、みんなが笑顔で競技を終えることができたことが最も素晴らしい結果だったと言えるのではないのでしょうか。一人一人、クラスの全員が力を合





取り組むことの大切さを改めて教えられたように思います。

『心燃 七色の炎を燃やせ』このスローガンのもと、どのシスターも全力を尽くして戦い抜きました。歓喜の涙、悔し涙、それぞれのシスターで思いは様々ですが、シスター解散式での応援団の人たちの言葉には、やりきったことに対しての満足感・充実感、そしてみんなへの感謝の言葉が述べられていました。みんなの協力がなければ、そして全力を尽くしていればこそその涙、そして言葉であったと思います。新しい歴史の一步を築き上げた南中生のみなさん。これからも仲間たちと協力し、さらなる活動、新たな歴史を刻んでいってください。益々の活躍を楽しみにしています。

なへの感謝の言葉が述べられていました。みんなの協力がなければ、そして全力を尽くしていればこそその涙、そして言葉であったと思います。新しい歴史の一步を築き上げた南中生のみなさん。これからも仲間たちと協力し、さらなる活動、新たな歴史を刻んでいってください。益々の活躍を楽しみにしています。

